

志村坂上地区 防災マップ

板橋区町会連合会 志村坂上支部
板橋区 危機管理室

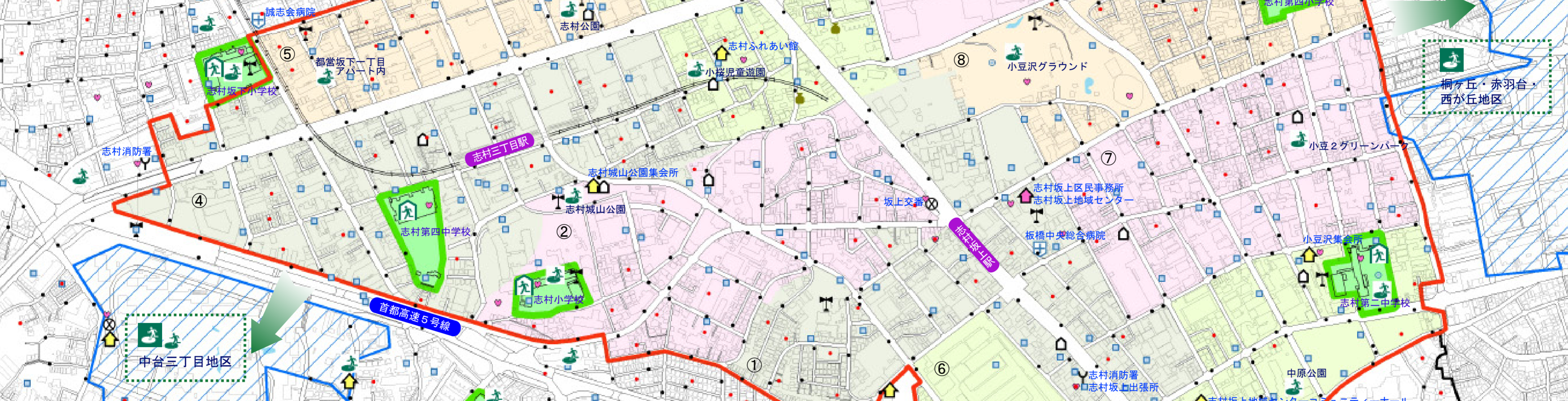
・このマップは「平成27年度板橋区地域別防災対策マニュアル策定ワークショップ」により作成されたものです。
・大規模災害に備えて、このマップをもとに「災害時の危険」を具体的に想定し、「防災上の資源」を使ってどのように対応するか確認しましょう。



町会・自治会(住民防災組織)

町会名	一時集合場所名
①志村町会	志村第二小学校・小豆沢グラウンド 見次公園
②志村城山町会	志村小学校
③志村五桜町会	小桜児童遊園
④志村親和町会	志村城山公園
⑤坂下一丁目南町会	都営坂下一丁目アパート内・志村公園
⑥小豆沢一丁目町会	志村第二中学校・中原公園 志村第二小学校
⑦小豆沢二丁目町会	小豆沢グラウンド・小豆2グリーンパーク
⑧小豆沢緑町会	小豆沢グラウンド・緑の広場 志村第四小学校
⑨小豆沢北町会	小豆沢公園・小豆沢北町会防災詰所前

支部域 〓 板橋区域 〓
町会、自治会区域 〓 〓 〓 〓



防災上の資源

- 一時集合場所
- 避難場所
- 避難所
- 消火栓
- 街頭消火器
- 防火水槽
- 防災協力井戸
- 防災用深井戸
- 災害時給水ステーション
- 防災行政無線放送塔
- 住防・消防隊格納庫
- AED設置場所
- 土のうステーション
- 消防署
- 警察署
- 救急病院
- 区役所・支所・区民事務所
- 地域センター
- 区民集会所・ホール
- ふれあい館・いこいの家

その他防災上の資源 (写真一部掲載)

公園、駐車場、神社、寺、事業所(人、車両、飲料、台車、はしご、フォークリフト、体育館、空地、通信、AED等)、福祉施設、専門学校(看護、日本語)、病院、医院、ドラッグストア、まちのマップ看板、掲示板、ソーラー街路灯、ホームセンター、コンビニ、公衆電話、公衆トイレ、コインランドリー、銭湯、井戸、湧水

災害時の危険

<p>地盤(崩壊)</p> <p>新河岸川沿い(水害、液状化)</p> <p>崖地、急傾斜地、擁壁</p>	<p>道路(閉塞・通行支障)</p> <p>狭い道路</p> <p>行き止まり路</p> <p>急な階段、坂道</p> <p>幹線道路交差点(混雑)</p> <p>放置自転車</p> <p>路上障害物</p> <p>街路樹の根による歩道破壊</p>
<p>建物(火災・崩壊)</p> <p>住宅密集地域</p> <p>老朽家屋、空き家</p> <p>ブロック塀</p> <p>外壁が崩れている建物</p> <p>ピロティ型の建物</p> <p>看板・大型ガラス(落下の恐れ)</p> <p>危険物貯蔵取扱所</p> <p>工場(危険物がある恐れ)</p>	<p>その他</p> <p>都営住宅・高齢者施設(要支援者の心配)</p> <p>神社鳥居(倒壊)</p>

避難の流れ

避難先を記入しましょう

(情報の収集・伝達) 一時集合場所 → (火災が拡大) 避難場所 → (自宅に住めない) 避難所 区立小中学校等

・板橋区が所有するデータを用いていますが、データの精度の都合上、実際の位置と地図上の位置にずれがある可能性があります。

・この防災マップの作成にあたっては、株式会社ミッドマップ東京の承認を得て、背景図を使用しています。また、地図の無断複写を禁じます。(利用許諾番号MMT利許第27028号-42)

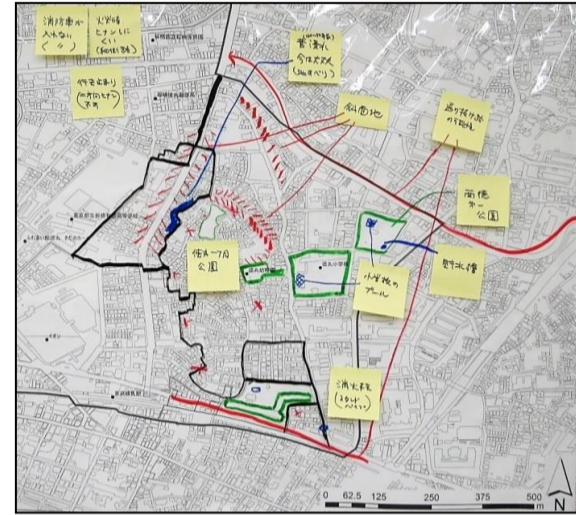
□志村坂上地区の地域特性

出典一覧: ①ミッドマップ東京1/2500地形図、②③首都大地震ゆれやすさマップ2013年旬報社、④板橋区都市計画マスタープラン、⑤H27板橋区用途地域図、⑥～⑧H23東京都土地利用現況調査、⑨H27.1板橋区住民基本台帳、⑩H22板橋区国勢調査

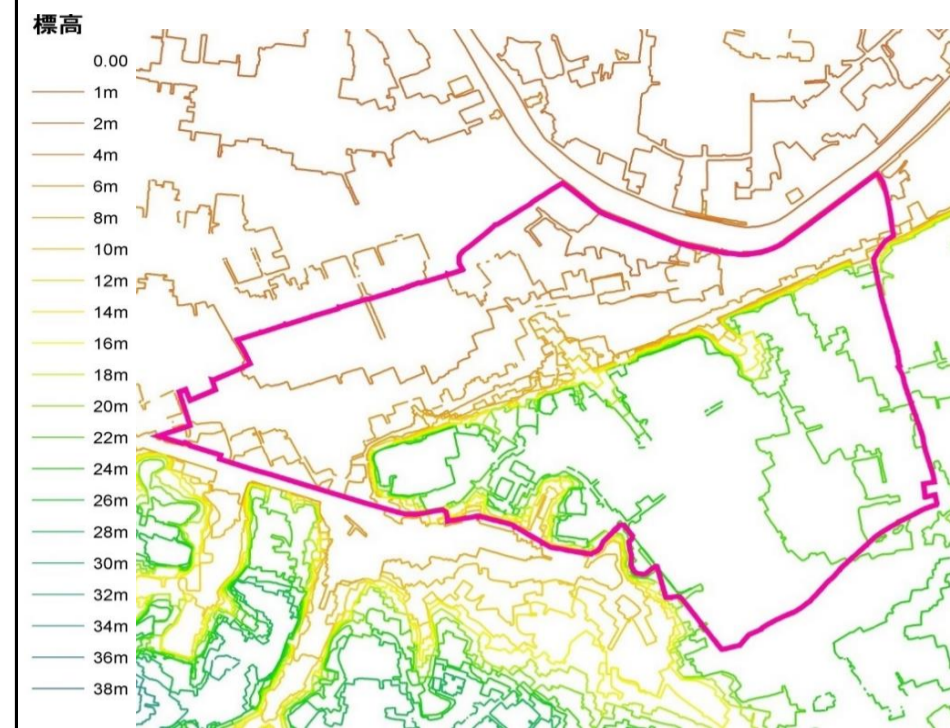
はじめに

志村坂上地区の地域特性について、地盤、建物、人口属性の分布を地図にあらわしました。これらの特徴を表面の地図で確認して、被害イメージを考える参考にしてください。

(地域の被害想定図の作成例)



①地形



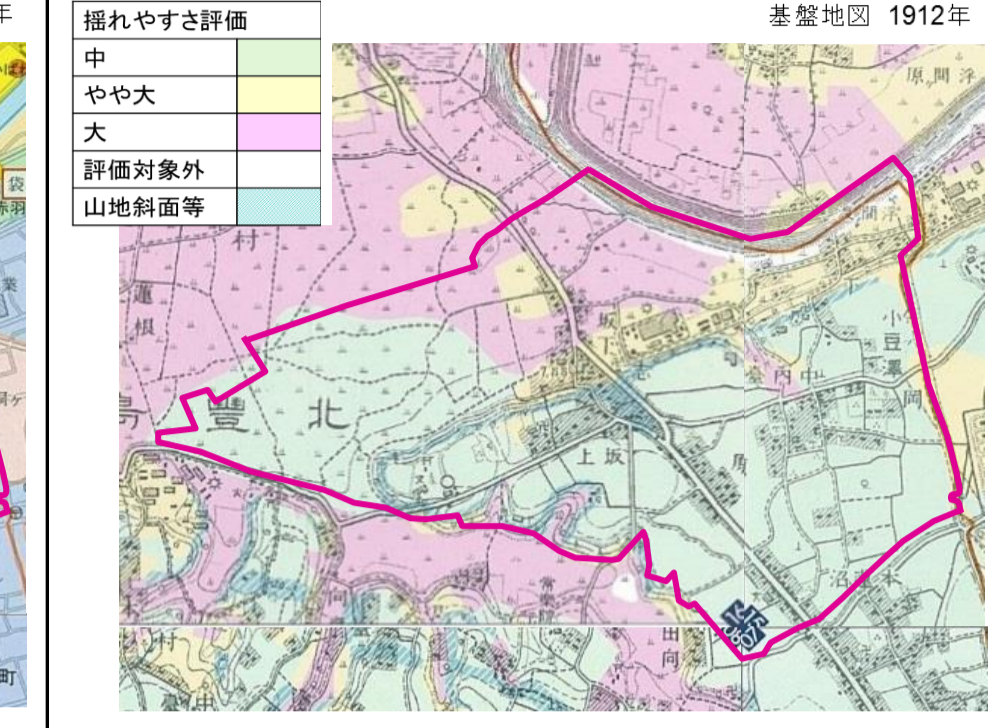
- 志村坂上地区の標高は、新河岸川付近の2mから武蔵野台地の22mに及び。
- 崖線(台地のへり)では6mから20mと約14mの高低差がある。

②土地条件図



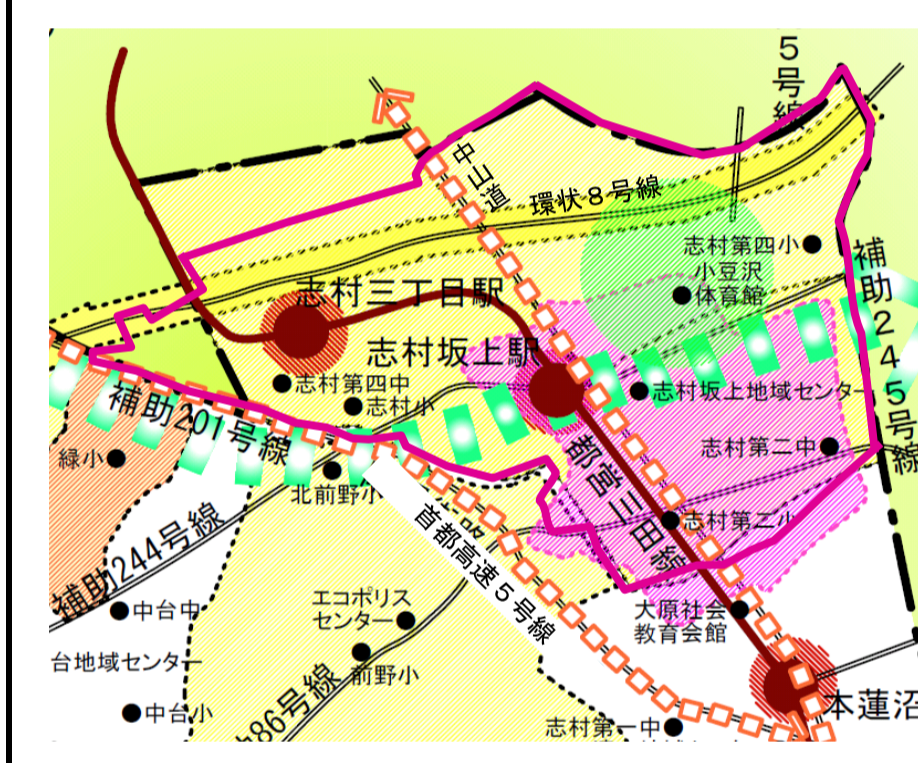
- 地区南部は、武蔵野台地のへりにあたる更新世段丘であり、北部の盛土・埋立した荒川低地との間に、完新世段丘や扇状地が広がる。

③旧版地図・地盤の揺れやすさ評価



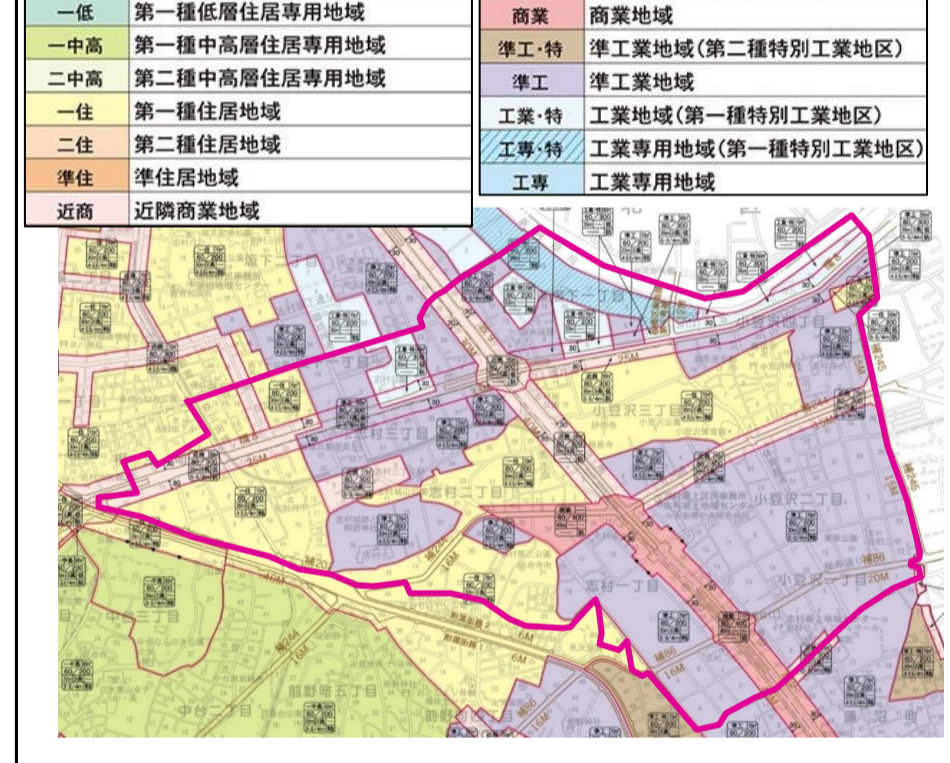
- 更新世段丘や扇状地の揺れやすさは「中」。
- 完新世段丘や自然堤防の揺れやすさは「やや大」。
- 盛土・埋立地は揺れやすさは「大」。

④土地利用-都市基盤



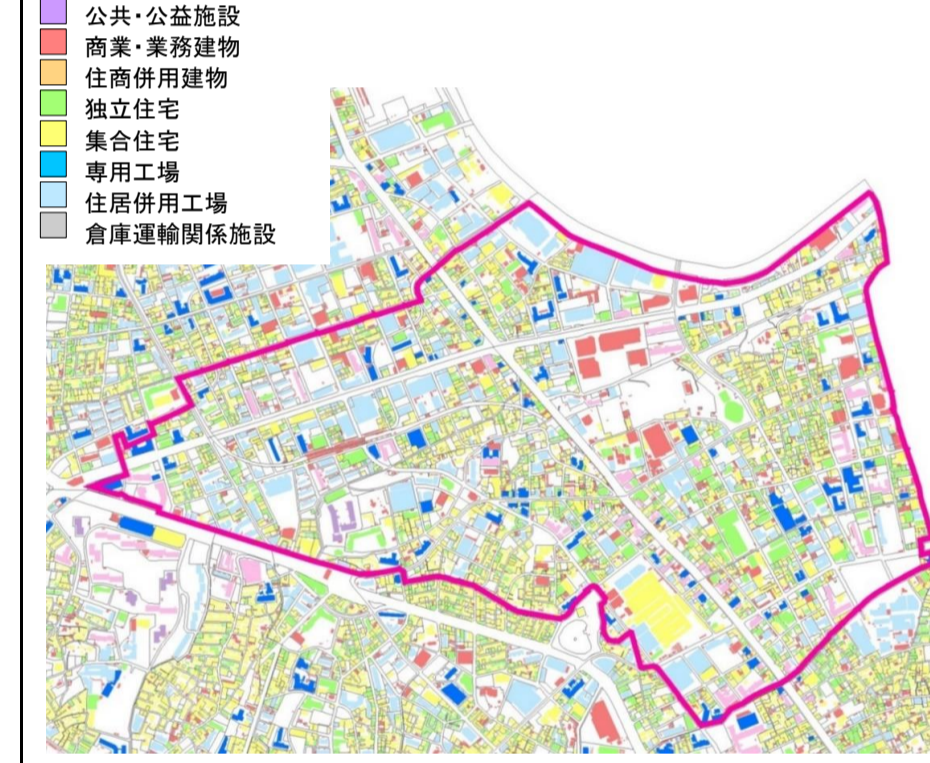
- 幹線道路(中山道、首都高速5号線、環状8号線)と鉄道(都営三田線)が通る。また、北部の崖線や南西を通る首都高速5号線の高架に向けて、多くの坂道がある。

⑤土地利用-用途地域



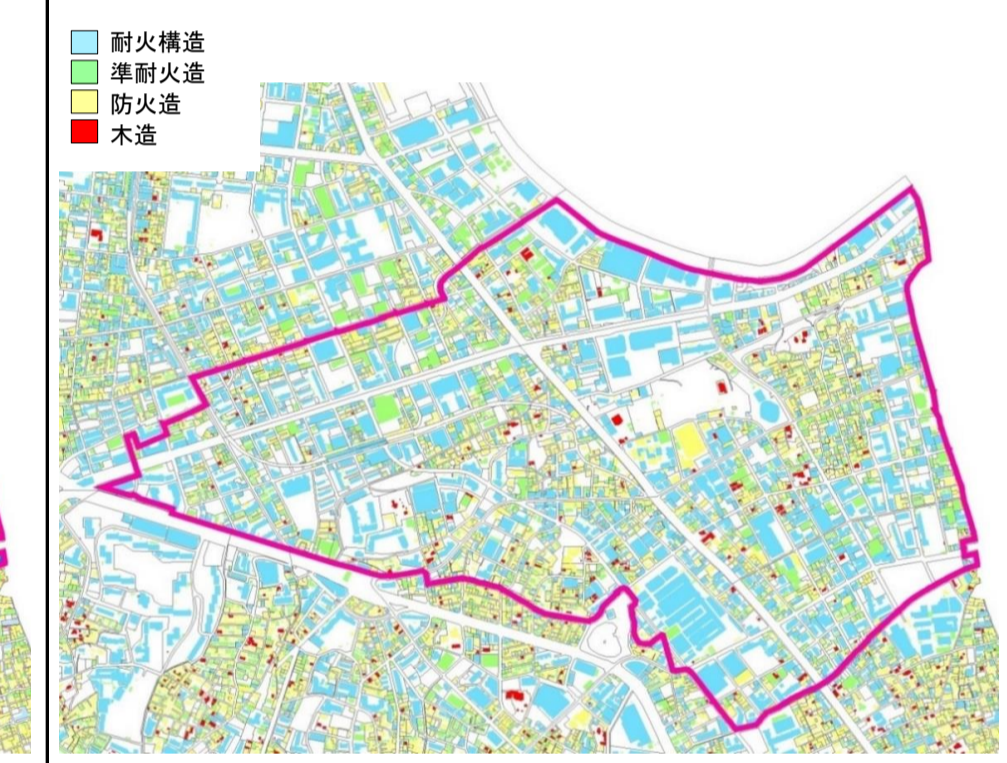
- ほぼ工業系の用途地域。
- 近年は、共同住宅への土地利用転換によって工業、住宅、商業が混在している。

⑥建物属性-建物用途



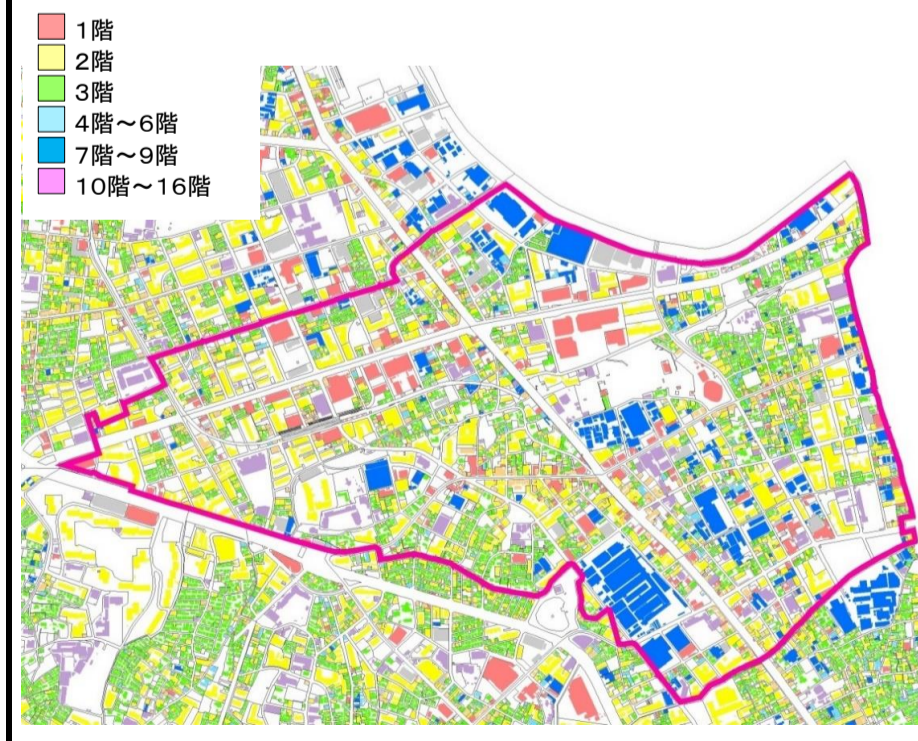
- 棟数割合では独立住宅が最も多く、次いで集合住宅が多い一方、建築面積割合では、集合住宅が最も高く、次いで専用工場が高い。
- 住宅、商業系施設、工場が混在して分布する。

⑦建物属性-建物構造



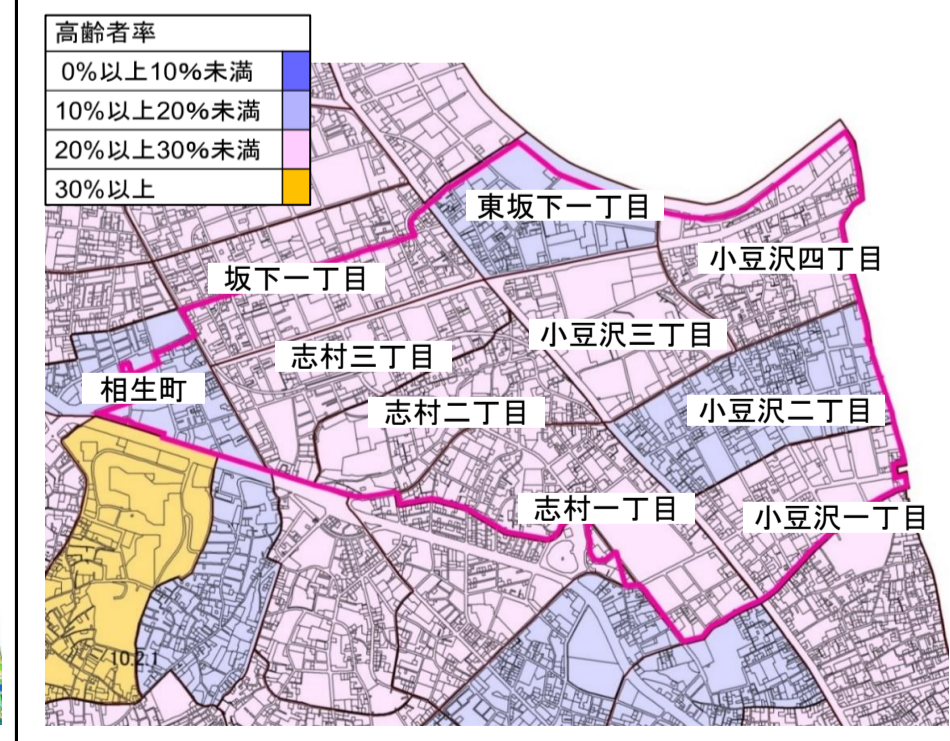
- 棟数割合では、防火造が過半数を占める。
- 街区の内に、木造(木材が外部に露出した建物)が点在している。

⑧建物属性-建物階数



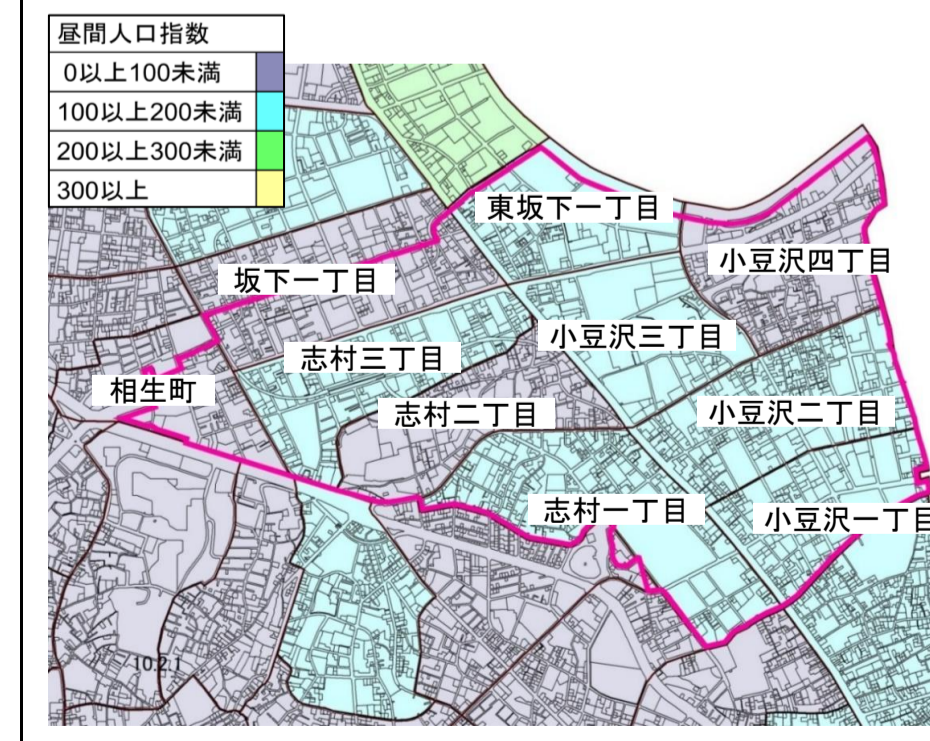
- 棟数割合では、1~3階建てで約91%を占める。
- 7~9階の建物は、工場が集まっているものが多い。

⑨人口属性-65歳以上の高齢者率(町丁目別)



- 高齢者(65歳以上)率は、区平均(23%)より相生町や東坂下一丁目、小豆沢二丁目が低い。

⑩人口属性-昼間人口指数(町丁目別)



- 昼間人口指数(夜間人口を100とした場合の昼間人口)は、区の平均値(92)より相生町や志村二丁目が高い。

まち歩きをしましょう

地区の地域特性を「鳥の目」で見た後は、まち歩きをして、「虫の目」でまちの様子を確認しましょう。自宅周辺の「災害時の危険」と「防災上の資源」を見つけて「まち歩きマップ」を作り、災害時の応急対応を検討しましょう。

